

それを続けているうちに、ある出版社から「面白いから本にしないか」という話が持ち込まれ、第一作が生まれたのだ。

2番目の文も同じ状況です。「続ける」、「持ち込まれる」、「生まれた」が並んでいます。これも同じく2つの文で表現しようと思いました。観点によりいろいろなわけ方があると思いますが、ここでは、「持ち込まれた」と「生まれたのだ」という二つの出来事で分けることにしました。それぞれ訳出をして、**, and** で結んでもいいのですが、これくらいの長さの場合、バラバラの文としてそのまま置いておくのも手です。今回は、後者を採用しようと思います。

A. **それを続けているうちに、ある出版社から「面白いから本にしないか」という話が持ち込まれ、**

---

述語から考えます。

(a) **ある出版社から「面白いから本にしないか」という話が持ち込まれ、**

---

どういう状況だったのか、イメージを膨らませると、出版社に勤めている人がやってきて、【『面白いから本にしないか』という言葉伝える】ことをしています。【言葉伝える】という部分から、say を引っ張り出してきてもいいですし、その言葉の内容から、suggest、propose なんかもいいと思います。ここでは propose を使いたいと思います。用法は、

▪ S propose, “(S)(V)” 「S は(S)(V)と提案する」

ですね。

(1) S propose, “(S)(V)”

【提案する主体】である S には【出版社からやってきた人】です。a publisher を使います。この表現は、【出版社】のように【組織】を表すこともできますし、【そこに属している人】を表すこともできます。実際には「人」が言いに来たのですが、英語の表現として、「会社」が言うことも可能です。

(2) a publisher proposed, “(S)(V)”

セリフの中身に取り組みます。セリフ全体では、提案をしています。相手がする行為に対する提案をする時の表現は、

▪ Why don't you DO? 「DOしたらどうです？」

です。【**相手がしたほうがいい行為**】である DO は「本にする」です。「本にする」というのは、【**なにかを書いて、それを売れる状態にまでする**】ということです。これは publish です。S publish A 「S は A を出版する」を使います。【**出版されるもの**】である A には a book が入ります。そのまま組み立てます。

(3) Why don't you publish a book?

そしてこれを(2)の(S)(V)の中に入れます。

(4) a publisher proposed, "Why don't you publish a book?"

## 面白いから

これは Why don't you publish を修飾しています。修飾表現は、つなぎの表現から紐解いていきます。「から」から、

▪ because (S)(V) 「(S)(V)だから」

は発想しやすかったかもしれません。

(5) because (S)(V)

中身の(V)は interesting で行けそうです。

▪ S is interesting 「S は面白い」

をつかいます。【**面白いもの**】である S には何が入るでしょう。【**出版社の人がたまたま見かけた、それまでに著者が作ってきたもの**】は、works です。しかも、【**一般の作品**】ではなく、【**この著者の作品**】です。セリフを言っている人から見たら、【**提案をしている相手**】です。なので、ただの works にするのではなく、your works にしておきます。

(6) **your works are interesting**

これを **because (S)(V)の(S)(V)**に組み込みます。

(7) **because your works are interesting**

**because (S)(V)**は、それが修飾する主文の前に来ても後ろに来てもいいのですが、**why don't you DO?** だけでなく、**how about A?**のように、主語の部分が標準的ではない時には、後ろに来ることがほとんどだったと思います。なので、後ろに置くことにしました。

(8) **a publisher proposed, "Why don't you publish a book because your works are interesting?"**

ここで、気が付いてしまいました。出版するのは、この作品です。**publish A** の **A** に **a book** と入っていますが、これが面白かったんです。つまり、**a book** と **your works** が実質同じものを指していたんです。なので、(8)の **a book** を **your works** だと捉えて、**S is interesting** の **S** のほうを、二度目に表現しているということで **they** にしたいと思います。

(9) **a publisher proposed, "Why don't you publish your works because they are interesting?"**

## (b) それを続けているうちに、

---

これは、**proposed** を修飾していますね。修飾語はつなぎの表現からです。

### a. (S) (V) するうちに

---

末尾には「うちに、」があります。**proposed** する【時間の範囲】を指定しています。

- **when (S)(V) 「(S)(V)する時」**

か

- **while (S)(V) 「(S)(V)する間」**

あたりでしょうか。前後関係を意識すれば、

- **after (S)(V) 「(S)(V)するあと」**

もいけると思います。ここでは **while** を使っていこうと思います。

(10)      **while (S)(V)**

### b. それを続けている

---

では、その中身である(S)(V)に取り組みます。述語は「続けている」から、**continue** や **keep** が浮かびます。ここでは、

- **S continue to DO 「S は DO し続ける」**

を使います。

(11)      **S continue to DO**

【続ける主体】である S は【このお話の話し手】が入ります。I ですね。【続ける行為】である DO には何が入るのでしょうか？イメージを浮かべてみると、【詩や物語を書く】が浮かんできました。一度表現しているので二度目に出てくるものとして、

▪ S do this 「S はこれをする」

を使います。continue は、【していた最中】だったので、過去進行形にします。

(12) I was continuing to do this

c. a. + b.

---

while (S)(V)の(S)(V)に(12)を入れます。

(13) while I was continuing to do this

(c) (a) + (b)

---

最後に、これを **proposed** に修飾させます。これも、前でも後でもいいのですが、後ろに多少修飾表現が重なっています。修飾関係が複雑になってしまうかもしれないので、前に置くことにします。カンマを挟むことをお忘れずに。

(14) while I was continuing to do this, a publisher proposed, “Why don’t you publish your works because they are interesting?”

## B. 第一作が生まれたのだ

---

述語を決めるためにイメージを浮かべます。【本屋に作品が並んでいる】感じです。日本語を生かして、

- S is born 「S は生まれる」

を使ってもいいと思いますが、ここはイメージを優先して、

- S is published 「S は出版される」

を使います。

(15) S is published

【出版されるもの】である S には、「第一作」を英語にしたものが入りません。the first book を入れようと思いますが、the とあっても、どの first book かわかりません。「私が書いたものの中で」というのをきちんと表現するために my first book にします。これはちょっと難しかったかもしれませんね。

(16) my first book was published

これも難しいのですが、最後に、in the end を(16)に入れることを実行します。これまでの流れで、いわばクライマックスとして、「第一作が生まれた」わけです。それを演出するために追加しました。個人的には、これは必要だと思いますが、受験生としては、表現しきれていなくても仕方がないくらい、難しい発想だったとも思いました。

(17) In the end, my first book was published.

**C. A. + B.**

---

予定通り、A. でできた(14)と、B. でできた(17)をそのまま並べておきます。

- (18) **While I was doing this, a publisher proposed, “Why don’t you publish your works because they are interesting?” In the end, my first book was published.**

**Model Answer**

While I was continuing to do this, a publisher proposed, “Why don’t you publish your works, because they are interesting?” In the end, my first book was published.